

よこはま動物園ズーラシア

ユーラシアカワウソの「モコ」が死亡しました



元気な頃の「モコ」

よこはま動物園で飼育していたユーラシアカワウソの「モコ」が死亡しましたので、お知らせします。

○ユーラシアカワウソ「モコ」

- (1) 性別 メス
- (2) 出生日 平成20年2月12日(14歳6か月)
- (3) 死亡日時 令和4年8月24日(水)午前8時30分死亡確認
- (4) 死因 多臓器不全
- (5) 経過 令和4年8月21日より食欲がなくなり、経過観察していましたが、8月24日に死亡を確認しました。

●モコのプロフィール

平成28年に広島市安佐動物公園より、よこはま動物園へ来園しました。ペアのジュウベエとの相性もよく、じやれあったり、寄り添って寝たりと仲睦まじい姿がみられ、子宝にも恵まれました。また、エサの時間には、鳴いて扇をたたき魚を要求するなど、活発な個体でした。



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ユーラシアカワウソについて

| | |
|------------------------------|---|
| 和 名 | ユーラシアカワウソ |
| 英 名 | Eurasian Otter |
| 学 名 | <i>Lutra lutra chinensis</i> |
| 分 類 | 食肉目 イタチ科 |
| 分 布 | 中国ほかユーラシアに広く分布 |
| 生 態 | ツンドラ以南のユーラシア大陸全土の淡水域や条件によっては海岸付近にも見られ、カワウソ類の中では最も広い分布域を持っています。よこはま動物園で飼育されているのは中国産の亜種です。エサは魚、カエル、甲殻類などの魚介類が中心です。社会形態は環境によって変わるとと言われ、単独で生活するものからグループを形成するものまであります。かつて良質の毛皮を狙った狩猟によって生息数が激減し、近年でも川の汚染や護岸工事などの環境破壊によって生存が脅かされています。 |
| ワシントン条約 (CITES) | 附属書 I: 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの |
| 国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト | 準絶滅危惧種 (NT) : 現時点では絶滅の危険度は小さいが、環境の変化によっては「絶滅危惧」になる可能性のあるもの |
| 当園飼育頭数 | 中国亜種 1頭 (オス0頭、メス1頭) ※今回死亡した個体を含まず 欧州亜種 1頭 (オス0頭、メス1頭) |
| 国内飼育園館 | 中国亜種 2園館 3頭 (オス1頭、メス2頭) 欧州亜種 5園館 9頭 (オス6頭、メス3頭) ※令和4年8月25日現在 |

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料: 大人 800円、中人・高校生 300円、小・中学生 200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上 2,000円

◆開園時間: 9:30~16:30 (入園は 16:00まで)

◆休園日: 毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) 12/29~1/1 ※臨時開園あり

◆交通: 相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで
約1時間

◆URL: <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

◆住所: 横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先: 045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。